



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月13日

上場会社名 株式会社エーアイティー 上場取引所 東  
 コード番号 9381 URL http://www.ait-jp.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理財務部長 (氏名)内田 利明 (TEL) 06(6260)3450  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	13,515	22.1	741	71.8	821	61.1	517	49.4
2021年2月期第1四半期	11,073	△1.5	431	28.7	509	30.5	346	37.4

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 769百万円 (203.1%) 2021年2月期第1四半期 253百万円 (△20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	22.01	—
2021年2月期第1四半期	14.61	—

(注) 当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式199,800株の取得を行いました。これらにより、2022年2月期の1株当たり四半期純利益については、期中平均株式数23,493,688株にて算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	22,449	12,531	54.8
2021年2月期	21,630	12,231	55.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 12,313百万円 2021年2月期 12,022百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2022年2月期	—				
2022年2月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年2月期の期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 創業25周年記念配当2円00銭

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,200	21.4	1,320	49.4	1,430	36.0	950	32.7	40.44
通期	53,000	15.7	2,830	22.8	3,050	19.8	2,040	17.8	86.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名) AIT International of America, Inc.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期1Q	23,913,600株	2021年2月期	23,913,600株
2022年2月期1Q	419,912株	2021年2月期	419,912株
2022年2月期1Q	23,493,688株	2021年2月期1Q	23,704,160株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、社会経済活動が大きく制限され、依然として厳しい環境下にあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境としても、新型コロナウイルス感染症の再拡大による物流への影響はないものの、日本国内で緊急事態宣言が一部の地域で再発出されたことで、個人消費も一段と厳しさを増すことが懸念され、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、中国や東南アジアから日本への輸入海上輸送の貨物集荷に加え、通関や配送、検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の受注獲得に向けて、精力的に営業活動を展開してまいりました。当第1四半期連結累計期間では、前連結会計年度同様にコロナ禍の中でアパレル関連製品の取扱いは低調でありましたが、巣ごもり消費の拡大から生活雑貨や家電製品等の取扱いは堅調な推移となりました。

また、昨秋以降は、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発する海上コンテナの不足により、当社グループで取扱う海上輸送の一部航路でも海上運賃が高騰しております。この状況下、当社グループでは、取引先への安定した国際輸送サービスの提供に努めてまいりました。コンテナ不足は未だ解消されず、一部の航路の海上運賃は高い水準を維持した状態が継続しておりますが、この海上運賃の高騰は、当第1四半期連結累計期間での業績拡大、収益向上の追い風ともなりました。

さらに、販売費及び一般管理費では、継続して人件費の抑制やその他コストの見直しや削減を図ることで、利益の創出を図ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は13,515百万円（前年同期比22.1%増）と前年同期を大きく上回りました。また、営業収益が好調に推移したことにより、営業利益は741百万円（前年同期比71.8%増）、経常利益は821百万円（前年同期比61.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は517百万円（前年同期比49.4%増）といずれも前年同期を大幅に上回ることとなりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」では、当第1四半期連結会計期間において、米国の現地法人「AIT International of America, Inc.」が清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

#### ①日本

当第1四半期連結累計期間では、緊急事態宣言の再発出により、国内の個人消費や経済活動に大きな影響を与え、経済環境の回復にさらに遅れが生じることとなりました。

非常に厳しい環境下ではありましたが、外出自粛等により巣ごもり消費が拡大する中、一貫輸送の受注を拡大させるべく、新規顧客の獲得、既存顧客との取引深耕に取り組んでまいりました。

その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で68,918TEU（前年同期比4.8%増）、輸出入合計では72,323TEU（前年同期比4.3%増）と前年同期を上回り、通関受注件数は36,935件（前年同期比1.2%増）と前年同期と同水準の推移となりました。

また、昨秋から続く海上コンテナの不足により、当社グループの取扱う一部の航路でも海上運賃が高騰し、今なお高い水準で推移しており、営業収益、売上総利益を押し上げる大きな要因となりました。

以上のことから、日本における営業収益は11,440百万円（前年同期比25.3%増）と前年同期を上回り、セグメント利益は、売上総利益が大幅に増加したことに加え、人件費や営業活動における費用の圧縮に努めたこと等で659百万円（前年同期比88.1%増）となりました。

#### ②中国

アパレル関連の取扱いが低調に推移していることから、検品・検針等の付帯業務の受注は厳しい環境が続いております。一方で昨年2月、3月に生じていた新型コロナウイルス感染症の影響による物流の停滞等も早々に解消され、当第1四半期連結累計期間では正常化しており、前年同期と比較して日本向け貨物の取扱量も回復し、中国国内での輸送関連の収益機会も増すこととなりました。

この結果、中国における営業収益は1,858百万円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は76百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

③その他

台湾及びベトナム子会社では安定した収益が確保出来たものの、ミャンマー子会社では新型コロナウイルス感染症や政情不安等の影響から収益が低下し、また、米国子会社の清算もあって、営業収益は216百万円（前年同期比22.8%減）となり、セグメント利益は5百万円（前年同期比73.7%減）となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ818百万円増加し22,449百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ894百万円増加し17,748百万円となりました。これは主に、現金及び預金が907百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し4,701百万円となりました。これは主に、顧客関連資産が65百万円、のれんが27百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ519百万円増加し9,918百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ545百万円増加し8,309百万円となりました。これは主に、買掛金が606百万円、賞与引当金が190百万円増加した一方で、未払法人税等が271百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し1,608百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が14百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ299百万円増加し12,531百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益517百万円を計上した一方で、剰余金の配当により469百万円が減少したことによるものであります。また、為替換算調整勘定が239百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、最近の動向等を踏まえ、2021年4月14日に公表した業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,653	11,560
受取手形及び売掛金	4,507	4,482
立替金	1,375	1,400
その他	358	345
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	16,853	17,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	179	171
機械装置及び運搬具(純額)	229	220
リース資産(純額)	295	275
その他(純額)	69	65
有形固定資産合計	774	732
無形固定資産		
のれん	870	843
顧客関連資産	2,105	2,039
その他	188	172
無形固定資産合計	3,164	3,055
投資その他の資産		
投資有価証券	460	533
繰延税金資産	86	83
差入保証金	244	248
その他	47	81
貸倒引当金	△0	△33
投資その他の資産合計	838	912
固定資産合計	4,777	4,701
資産合計	21,630	22,449
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,247	2,853
1年内返済予定の長期借入金	3,700	3,700
未払法人税等	580	308
賞与引当金	389	580
役員賞与引当金	35	19
その他	811	846
流動負債合計	7,764	8,309
固定負債		
繰延税金負債	501	502
退職給付に係る負債	584	569
役員退職慰労引当金	140	147
資産除去債務	210	211
その他	198	177
固定負債合計	1,634	1,608
負債合計	9,399	9,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271	271
資本剰余金	5,275	5,275
利益剰余金	6,808	6,856
自己株式	△392	△392
株主資本合計	11,962	12,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	10
為替換算調整勘定	57	296
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	59	303
非支配株主持分	209	218
純資産合計	12,231	12,531
負債純資産合計	21,630	22,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
営業収益		
輸送事業収入	11,073	13,515
営業収益合計	11,073	13,515
営業原価		
輸送事業仕入	9,077	11,243
営業原価合計	9,077	11,243
売上総利益	1,996	2,271
販売費及び一般管理費	1,564	1,529
営業利益	431	741
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	24	38
為替差益	24	24
その他	19	13
営業外収益合計	80	83
営業外費用		
支払利息	1	3
その他	0	0
営業外費用合計	2	3
経常利益	509	821
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	2	0
関係会社清算損	-	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	507	821
法人税、住民税及び事業税	173	294
法人税等調整額	△23	3
法人税等合計	149	298
四半期純利益	358	522
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	517



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	358	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	3
為替換算調整勘定	△73	209
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	33
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△104	246
四半期包括利益	253	769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	760
非支配株主に係る四半期包括利益	10	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった「AIT International of America, Inc.」は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	9,133	1,660	10,793	280	11,073	—	11,073
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	47	967	1,014	143	1,157	△1,157	—
計	9,180	2,627	11,808	423	12,231	△1,157	11,073
セグメント利益	350	60	410	21	431	—	431

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は2020年2月29日をもって営業を終了し、現在清算手続中であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	11,440	1,858	13,298	216	13,515	—	13,515
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	39	963	1,003	111	1,114	△1,114	—
計	11,480	2,821	14,302	328	14,630	△1,114	13,515
セグメント利益	659	76	736	5	741	—	741

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は、当第1四半期連結会計期間において、清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。